

- 晃、鮫島哲郎、村上誠、中山大介、吉浦孝一郎、増崎英明
- 嚢胞化絨毛における分子遺伝学的解析の有用性に関する検討. 松本由有子、三浦清徳、山崎健太郎、中山大介、吉浦孝一郎、中山雅弘、増崎英明
- 第 19 回日本産婦人科・新生児血液学会（北海道）2009 年 6 月 12-13 日**
- 母体血中胎盤特異的 miRNA 流入量の分娩に伴う変化に関する検討. 三浦清徳、三浦生子、東島 愛、阿部修平、山崎健太郎、嶋田貴子、吉田敦、中山大介、増崎英明
- 第 45 回日本周産期・新生児学会（名古屋）2009 年 7 月 12-14 日**
- 母体血に流入する胎盤特異的 miRNA とその流入量に関する検討. 三浦清徳、三浦生子、東島 愛、阿部修平、山崎健太郎、嶋田貴子、吉田敦、中山大介、増崎英明
- 前置胎盤・低置胎盤の術中超音波検査
吉田敦、山崎健太郎、三浦清徳、中山大介、増崎英明
- 第 16 回日本遺伝子診療学会 2009 年 7 月 30 日（水）～8 月 1 日（土），ホテル札幌ガーデンパレス，札幌**
- W-14: 日本における HPV 感染の特徴と HPV 持続感染に関わる SNP 検索. 吉浦孝一郎、三浦清徳、中山大介、増崎英明
- 0-03: ヒト疾患モデルとしての interferon regulatory factor 6 遺伝子改変マウスの表現型解析
- 0-006: アレイ染色体検査のための健常人 CNV データベース構築の試み. 松井健、霜川 修、吉浦孝一郎、新川詔夫、松本直通、原田直樹
- 0-008: Brain AVM maps to 5p13-q14, 15q11-q13 or 18p11: Linkage analysis with clipped fingernail DNA using high-density SNP array. 及川将弘、国場英雄、近藤達郎、永安 武、新川詔夫、吉浦孝一郎
- 0-011: PCR-高解像度融解曲線分析法による遺伝子スキニングシステムの構築. 要 匡、柳 久美子、福嶋義光、吉浦孝一郎、新川詔夫、成富研二
- 0-012: 次世代型シーケンサを用いた原因候補全領域リシーケンス解析へのアプローチ: 日本人ゲノム 16q122 領域の構造解析. 要 匡、塚原正俊、柳 久美子、藤森一浩、喜久里育也、照屋盛実、今田有美、鼠尾まい子、矢野修一、佐藤友紀、三輪有希乃、平野 隆、平野隆城、高嶋 博、吉浦孝一郎、新川詔夫、成富研二
- 0-023: 母体血中への胎盤特異的 miRNA の流入量に関する検討. 三浦清徳、三浦生子、東嶋 愛、阿部修平、山崎健太郎、嶋田貴子、吉浦孝一郎、増崎英明
- 0-025: 自己免疫疾患におけるマイクロリズムノ関与に関する検討. 東嶋愛、三浦清徳、山崎健太郎、小川文秀、川上 純、吉浦孝一郎、増崎英明
- 0-024: デュシェンヌ型筋ジストロフィー保因者の妊婦における出生前診断への cell-free fetal DNA の応用. 城 大空、三浦清徳、三春範夫、三浦生子、嶋田貴子、吉田敦、中山大介、増崎英

- 明
- 0-026: 長崎県における HPV-DNA 型の分布と DNA 型による癌化への影響に関する検討. 阿部修平, 山崎健太郎, 三浦清徳, 中山大介, 嶋田貴子, 三浦生子, 藤下 晃, 鮫島哲郎, 村上 誠, 吉浦孝一郎, 増崎英明
- 0-033: 軟口蓋裂および粘膜下口蓋裂のゲノムワイド連鎖解析. 津田雅由, 中島光子, 平野明喜, 三古谷 忠, 山田崇弘, 吉浦孝一郎
- 第 54 回日本人類遺伝学会 2009 年 9 月 23 日 (水) ~26 日 (土), グランドプリンスホテル高輪, 東京**
- OA 016: 6 番染色体部分片親性ダイソミーを認めた 3M 症候群の 1 例. 佐々木健作, 岡本伸彦, 小崎健次郎, 川良洋城, 吉浦孝一郎, 松本直通, 原田直樹
- OA 019: アレイ染色体検査のための健常人 CNV データベース構築の試み. 松井健, 霜川修, 齋藤和正, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 松本直通, 原田直樹
- OA 056: 発作性運動誘発性舞踏アテトーゼ (PKC) の変異解析. 小野慎治, 菊池妙子, 木下晃, 小澤寛樹, 新川詔夫, 吉浦孝一郎
- PA 031: 網羅的解析による母胎血中胎盤特異的 microRNA の同定とその局在に関する検討. 三浦清徳, 三浦生子, 東島愛, 阿部修平, 山崎健太郎, 嶋田貴子, 吉田敦, 中山大介, 吉浦孝一郎, 増崎英明
- PB 100: 羊水検査で検出した 2 番染色体長腕逆位重複の 1 例. 松井健, 堀越嗣博, 川目裕, 霜川修, 佐々木由喜, 松本直通, 吉浦孝一郎, 原田直樹
- PB 133: 日本人口唇裂患者における 8q24 の検証. 津田雅由, 引田正宣, 秋田定伯, 平野明喜, 内山健, 吉浦孝一郎
- PB 147: 次世代シーケンサによる日本人ゲノム 16q-ADCA 原因候補領域の構造解析. 要匡, 塚原正俊, 柳久美子, 藤森一浩, 喜久里育也, 照屋盛実, 今田有美, 鼠尾まい子, 矢野修一, 佐藤友紀, 三輪友希乃, 平野隆, 平野隆城, 高嶋博, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 成富研二
- PB 148: 嚢胞内乳ガンは嚢胞内乳頭腫に比べ顕著なゲノム変化を有する: 高密度 SNP マイクロアレイによるゲノムワイド copy number/LOH 解析. 及川将弘, 永安武, 矢野洋, 安倍邦子, 林徳真吉, 新川詔夫, 吉浦孝一郎
- PB 150: 長崎県における HPV-DNA 型の分布と子宮頸癌との関連に関する検討. 阿部修平, 山崎健太郎, 三浦清徳, 三浦生子, 嶋田貴子, 中山大介, 吉浦孝一郎, 増崎英明
- PB 151: 長崎における HPV-DNA 型の頻度と持続感染に関する研究. 山崎健太郎, 三浦清徳, 三浦生子, 嶋田貴子, 藤下晃, 鮫島哲郎, 村上誠, 吉浦孝一郎, 増崎英明
- 北海道医療大学セミナー 2008 年 1 月 8 日 (北海道医療大学, 北海道)**
- 唇裂・口蓋裂の原因遺伝子解析の現状と展望について 吉浦孝一郎
- 母体血漿中へ流入する ceel-free mRNA の臨床応用 三浦清徳

第12回胎児遺伝子診断研究会 2008年2月14日（兵庫・兵庫医科大学）

X連鎖性遺伝病の出生前診断における cell-free fetal DNA を用いた性別診断の有用性 三浦清徳, 山崎健太郎, 三春範夫, 三浦生子, 嶋田貴子, 吉田敦, 中山大介, 増崎英明

第十一回胎児遺伝子診断研究会 2008年2月16日, 良順会館, 長崎.

一般演題 10: マイクロアレイを使用した全ゲノムコピー数解析による出生前診断の試み. 原田直樹, 佐々木健作, 霜川修, 川良洋城, 富士山龍伊, 近藤達郎, 夫 律子, 松本直通, 吉浦孝一郎, 新川詔夫.

第8回東北出生前医学研究会 2008年2月7日（土）岩手県民情報交流センター アイーナ 8階.

全ゲノムコピー数解析による染色体検査 (Molecular karyotyping) の有用性. 霜川修, 佐々木健作, 近藤達郎, 松本直通, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 原田直樹.

第60回日本産科婦人科学会総会・学術講演会 2008年4月12-15日

P4-63 母体血漿中へ流入する胎盤由来 mRNA の網羅的遺伝子解析-妊娠高血圧症候群における臨床所見との関連性について- 三浦清徳, 三浦生子, 山崎健太郎, 嶋田貴子, 中山大介, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 増崎英明

P1-145 胎盤機能の推定を目指した cDNA マイクロアレイジーンチップの作成に関する検討
三浦生子, 三浦清徳, 山崎健太郎, 嶋田貴

子, 中山大介, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 増崎英明

P4-245 卵巣に発生した形質細胞腫の一例
山崎健太郎, 三浦清徳, 森山信吾, 増崎英明

P1-153 性交経験がない婦人における Human papilloma virus の感染頻度に関する検討
嶋田貴子, 宮下昌子, 三浦生子, 中山大介, 三浦清徳, 増崎英明

P1-267 癒着胎盤の術前診断に関する検討
吉田敦, 谷川輝美, 三浦生子, 三浦清徳, 中山大介, 増崎英明

臨床懇話会 2008年5月10日（長崎ワシントンホテル, 長崎市）

Severe preterm IUGRと confined placental mosaicism -周産期から出生後12ヶ月について- 三浦清徳

第65回日本産科婦人科学会九州連合地方部会 2008年5月17-18日

超音波断層法で胎児の蜂巣状の腸管拡張像を認めた3例 阿部修平, 三浦清徳, 山崎健太郎, 三浦生子, 中山大介, 増崎英明

日本超音波医学会, 第81回学術集会, 2008年5月23日（金）～25日（日）神戸国際会議場

出生前に胎児洞性徐脈と診断された一例
三浦清徳, 黒田 葵, 山崎健太郎, 藤本洋子, 吉村秀一郎, 宮本正史, 増崎雅子, 三浦生子, 中山大介, 増崎英明
超音波検査で胎児筋原性疾患を疑った3症例 東島愛, 三浦清徳, 北島道夫, 山

崎健太郎, 濱口大輔, 吉田至剛, 藤本洋子, 山口友子, 中山大介, 増崎英明
超音波検査で胎児の下部消化管拡張を認めた2例 阿部修平, 三浦清徳, 山崎健太郎, 三浦生子, 宮本正史, 増崎雅子, 吉村秀一郎, 中山大介, 増崎英明
Nuchal Translucencyの形態と染色体異常および頸部嚢胞性ヒグロームとの関係に関する検討 吉田至剛, 三浦清徳, 山崎健太郎, 三浦生子, 嶋田貴子, 吉村秀一郎, 増崎雅子, 宮本正史, 中山大介, 増崎英明

NTに差を認めた一絨毛膜性双胎の一例 山崎健太郎, 三浦清徳, 中山大介, 山口友子, 増崎英明

前置胎盤における大量出血の予測に関する検討 吉田 敦, 谷川輝美, 三浦生子, 三浦清徳, 中山大介, 増崎英明

第18回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会 2008年6月27-28日 (九州大学・百年講堂, 福岡市)

ワークショップ3 TTTS: twin-to-twin

transfusion syndrome TTTSのリスクを推定する分子診断法の確立を目指して-母体血漿中胎盤由来mRNAを用いた検討- 三浦清徳, 山崎健太郎, 三浦生子, 中山大介, 増崎英明

シンポジウム5 常位胎盤早期剥離

胎児死亡例からみた常位胎盤早期剥離の検討 谷川輝美, 三浦清徳, 吉田敦, 中山大介, 増崎英明

第44回日本周産期・新生児医学会 2008年7月13-15日 (パシフィコ横浜, 横浜)

X連鎖性疾患の出生前診断における

cell-free fetal DNAの臨床応用 三浦清徳, 三浦生子, 山崎健太郎, 三春範夫, 嶋田貴子, 吉田敦, 中山大介, 増崎英明
原因不明の羊水過多を伴った胎児筋原性疾患の3例 東島愛, 三浦清徳, 北島道夫, 山崎健太郎, 吉田至剛, 中山大介, 増崎英明

前置胎盤に伴う癒着胎盤の診断に関する検討 吉田敦, 三浦生子, 三浦清徳, 中山大介, 増崎英明

日本遺伝子診療学会 15回大会 2008年8月2日(土)~3日(日) 仙台市戦災復興記念館.

マイクロアレイを使用した全ゲノムコピー数解析による染色体検査の有用性と問題点. Availability and problem of whole genomic copy number analysis with microarray. 霜川 修, 佐々木健作, 富士山龍伊, 近藤達郎, 松本直通, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 原田直樹.

地域がん登録全国協議会 第17回総会研究会 2008年9月11日 (良順会館, 長崎市)

子宮頸部細胞診におけるベセスダシステムとHPVスクリーニングの有用性 三浦清徳, 山崎健太郎, 池本理恵, 三浦生子, 嶋田貴子, 濱口大輔, 小寺宏平, 藤下晃, 鮫島哲郎, 村上誠, 中山大介, 吉浦孝一郎, 増崎英明

長崎県のHPV typeについて 山崎健太郎, 三浦清徳, 池本理恵, 三浦生子, 嶋田貴子, 濱口大輔, 小寺宏平, 藤下晃, 鮫島哲郎, 村上誠, 中山大介, 吉浦孝一郎, 増崎英明

第 53 回日本人類遺伝学会 2008 年 9 月
27-30 日 (パシフィコ横浜, 横浜)

W-5: 全国スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の共同による耳垢型対立遺伝子の全国地図作成の研究. 本多隆利, 村松紋佳, 田中清, 長嶋哲也, 小川隆, 吉浦孝一郎, 新川詔夫

O-044: Ophthalmocromelic 症候群のゲノムワイド連鎖解析. 浜之上はるか, Megarbane Andre, 當間隆也, 三宅紀子, 才津浩智, 堺温哉, 三浦生子, 吉浦孝一郎, 平原史樹, 松本直通

O-046: 軟口蓋裂のゲノムワイド連鎖解析. 津田雅由, 中島光子, 平野明喜, 三古谷忠, 山田崇弘, 吉浦孝一郎

O-047: 爪から抽出したゲノム DNA を用いた Affymetrix 10K GeneChip による家族性脳動脈奇形の連鎖解析. 及川将弘, 国場英雄, 近藤達郎, 永安 武, 吉浦孝一郎

O-149: 大規模 SNP タイピングにおける爪 DNA の有用性の検討. 中島光子, 津田雅由, 木下晃, 新川詔夫, 吉浦孝一郎

O-172: C20orf133 は歌舞伎メーキャップ症候群の責任遺伝子ではない. 国場英雄, 津田雅由, 中島光子, 三浦生子, 近藤達郎, 松本正, 森内浩幸, 大橋博文, 黒澤健司, 外木秀文, 福嶋義光, 成富研二, 三宅紀子, 松本直通, 木下晃, 吉浦孝一郎, 新川詔夫

P-013: 羊水検査で検出した稀な 9q 近位部重複異形を有する 3 家系. 霜川 修, 佐々木健作, 坂井和裕, 長田久夫, 佐久本薫, 近藤達郎, 松本直通, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 原田直樹

P-096: 古人骨における耳垢遺伝子解析の試み (続報). 佐伯和信, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 岡本啓圭史, 分部哲秋

O-052: 癒着胎盤の評価に母体血漿中 cell-free placental mRNA 定量化は有用か? 三浦清徳, 山崎健太郎, 三浦生子, 嶋田貴子, 吉田敦, 中山大介, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 増崎英明

Nuchal translucency の厚みと双胎間輸血症候群との関連 阿部修平, 山崎健太郎, 三浦清徳, 吉田至剛, 三浦生子, 中山大介, 増崎英明

胎児筋緊張性ジストロフィーにおける出生前の検査所見 東島愛, 三浦清徳, 山崎健太郎, 北島道夫, 吉田至剛, 中山大介, 増崎英明

絨毛の一部が水腫化していた例の分子遺伝学的解析 松本由有子, 三浦清徳, 山崎健太郎, 中山大介, 増崎英明

自己免疫疾患におけるマイクロキメリズムの関与に関する検討 山崎健太郎, 三浦清徳, 三浦生子, 嶋田貴子, 中山大介, 川上純, 小川文秀, 江口勝美, 佐藤伸一, 増崎英明

第10回 甲信越・北陸出生前診断研究会
2008年10月4日 (土) KKR甲府ニュー芙蓉.

全ゲノムコピー数解析による染色体検査 (Molecular karyotyping) の有用性. 霜川修, 佐々木健作, 近藤達郎, 松本直通, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 原田直樹.

第 15 回 遺伝性疾患に関する出生前診断研究会 2008 年 10 月 19 日 (大分県医師会館, 大分県)

NT肥厚を認めた13q-症候群の1例 山崎健太郎, 三浦清徳, 吉田敦, 松本由有子, 増崎英明

絨毛性疾患合併妊娠を疑われた1例 松本由有子, 山崎健太郎, 三浦清徳, 中山大介, 吉浦孝一郎, 増崎英明

オルニチントランスカルバミラーゼ (OTC) 欠損症の出生前診断 三浦清徳, 山崎健太郎, 三浦生子, 嶋田貴子, 谷川輝美, 中山大介, 増崎英明

第 29 回日本妊娠高血圧学会学術集会 2008年10月11-12日(福島ビューホテル, 福島市)

シンポジウム

母体血漿中胎盤由来 mRNA の流入パターンから見た妊娠高血圧症候群 三浦清徳, 三浦生子, 山崎健太郎, 吉田敦, 中山大介, 増崎英明

当院における子癇症例の検討 吉田敦, 三浦清徳, 中山大介, 増崎英明

第 53 回日本生殖医学会総会 2008年10月23-24日(神戸国際会議場, 神戸市)

二卵性一絨毛膜双胎における血液キメラの遺伝子解析 三浦清徳, 肥後貴史, 三浦生子, 増崎英明

第 47 回日本臨床細胞学会秋季大会 2008年11月14-15日(グランドプリンスホテル新高輪, 東京都)

長崎県におけるHPV typing検査について 荒木裕之, 山崎健太郎, 三浦清徳, 池本

理恵, 濱口大輔, 藤下晃, 鮫島哲郎, 村上誠, 吉浦孝一郎, 増崎英明

HPV感染と細胞診判定の経時的変化について 山崎健太郎, 三浦清徳, 池本理恵, 三浦生子, 嶋田貴子, 藤下晃, 鮫島哲郎, 村上誠, 吉浦孝一郎, 増崎英明

妊婦の子宮頸部細胞診におけるベセスダシステムとHPVスクリーニングの有用性について 三浦清徳, 山崎健太郎, 池本理恵, 嶋田貴子, 濱口大輔, 藤下晃, 鮫島哲郎, 村上誠, 吉浦孝一郎, 増崎英明

第 11 回北海道出生前診断研究会 2008年11月22日(札幌医科大学, 札幌市)

特別講演「母体血中 mRNA による胎児・胎盤の評価」 三浦清徳

第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会 2008年12月9日(火)～12日(金), 神戸ポートアイランド, 神戸.

1P-0232: Biomedical characterization of a genetic polymorphism of human ABCC11 as a determinant of earwax type. 豊田優, 櫻井亜季, 中島正洋, 中川 大, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 石川智久

4P-1146: ハイスループット遺伝子スクリーニングへ向けた PCR-高解像度融解曲線分析法の至適条件検討と FGD1 遺伝子変異スクリーニング. 要 匡, 柳 久美子, 知念安紹, 前原博樹, 福嶋義光, 吉浦孝一郎, 新川詔夫, 成富研二

第 59 回日本産科婦人科学会総会、

2007/4/14-17、京都

シンポジウム2：多胎妊娠の予防と管理
双胎形成のメカニズムとその異常に関する分子遺伝学的検討. 三浦清徳

胎児内胎児の発生メカニズムに関する検討. 三浦生子、三浦清徳、山中美智子、平原史樹、新川詔夫、増崎英明

耳垢タイプは母乳分泌量に相関するの
か？嶋田貴子、三浦清徳、三浦生子、
吉田敦、谷川輝美、北島百合子、中山
大介、増崎英明

妊娠高血圧症候群の重症化を予測する因子に関する検討. 吉田敦、北島百合子、谷川輝美、三浦清徳、中山大介、増崎英明

第 80 回日本超音波医学会 学術集会、
2007/5/18-20、鹿児島

前置胎盤における超音波検査と母体血漿
中 mRNA 定量化の有用性. 三浦清徳、
三浦生子、山崎健太郎、嶋田貴子、吉
田敦、中山大介、宮本正史、吉村秀一
郎、増崎雅子、増崎英明

表現型の異なる双胎例の超音波所見とそ
の発生機序に関する考察. 山崎健太郎、
三浦清徳、三浦生子、嶋田貴子、吉田
敦、宮本正史、増崎雅子、吉村秀一郎、
中山大介、増崎英明

出生前に認められた胎児卵巣嚢胞の転帰
に関する検討. 嶋田貴子、三浦清徳、
後藤英夫、大島雅之、中山大介、増崎

英明

子宮筋腫合併妊娠の超音波所見と臨床所
見との関連について. 北島百合子、三
浦清徳、吉田敦、三浦生子、宮本正史、
増崎雅子、吉村秀一郎、中山大介、増
崎英明

癒着胎盤における子宮温存手術. 中山大
介、三浦清徳、藤本洋子、嶋田貴子、
梅崎靖、増崎英明

プロテインS欠乏症が疑われた妊娠中の
深部静脈血栓症の2症例. 谷川輝美、
中山大介、三浦清徳、吉田敦、増崎雅
子、宮本正史、北島道夫、嶋田貴子、
増崎英明

無心体双胎の出生前超音波所見について.
松本加奈子、吉田敦、三浦清徳、中山
大介、増崎英明

パネルディスカッション：癒着胎盤の術
前診断は可能か？吉田敦、谷川輝美、
三浦生子、宮本正史、増崎雅子、福田
久信、吉村秀一郎、三浦清徳、中山大
介、増崎英明

第 43 回日本周産期・新生児医学会、
平成 19 年 7 月 8 日(日)～10 日(火)、
東京

Duchenne 型筋ジストロフィーの出生前診
断における当科のストラテジー. 三浦
清徳、三浦生子、山崎健太郎、嶋田貴
子、吉田敦、中山大介、増崎英明

母体血漿中に流入する胎盤由来 mRNA の同定とその臨床的意義. 三浦生子、三浦清徳、山崎健太郎、嶋田貴子、平木宏一、中山大介、増崎英明

症例報告：前置胎盤および癒着胎盤合併の妊娠中期中絶. 中山大介、吉村秀一郎、三浦清徳、吉田敦、増崎英明

癒着胎盤の術前診断に関する検討. 吉田敦、三浦生子、三浦清徳、平木宏一、中山大介、増崎英明

当院における常位胎盤早期剥離についての検討. 谷川輝美、中山大介、吉田敦、三浦清徳、三浦生子、嶋田貴子、増崎英明

TTTS を発症しなかった discordant twins の検討. 山崎健太郎、三浦清徳、吉田敦、平木宏一、中山大介、増崎英明

第 52 回日本人類遺伝学会 2007 年 9 月 12 日 (水) ~ 15 日 (土)、東京.

教育講演：耳垢遺伝子を通して考える人類遺伝学研究. 吉浦孝一郎

シンポジウム：周産期遺伝学の現状と展望 周産期医療における胎児・胎盤由来 cell-free DNA/mRNA の臨床的意義とその応用. 三浦清徳

山崎健太郎、三浦清徳、三浦生子、吉浦孝一郎、嶋田貴子、中山大介、増崎雅子、新川詔夫、増崎英明. 双胎間輸血症候群の発症予知に関する検討—cell

-free placental mRNA の分子マーカーとしての可能性.

三浦清徳、吉浦孝一郎、山崎健太郎、嶋田貴子、平木宏一、吉田敦、谷川輝美、北島百合子、増崎雅子、中山大介、新川詔夫、増崎英明. 母胎血漿中で定量可能な胎盤由来 cell-free mRNA の同定に関する検討.

中島光子、新川詔夫、吉浦孝一郎. 爪から抽出した genomic DNA を用いた多型解析：血液サンプルとの比較.

国場英雄、霜川修、Liag Desheng、Xia Jiahui、木下晃、吉浦孝一郎、原田直樹、近藤達郎、大橋博文、黒澤健司、福島義光、成富研二、新川詔夫. 歌舞伎メーカーシップ症候群の染色体転座・微細欠失内の候補遺伝子解析.

佐々木健作、霜川修、川良洋城、国場英雄、近藤達郎、夫律子、本多啓輔、松本直通、吉浦孝一郎、新川詔夫、原田直樹. 未培養羊水の全ゲノム増幅による出生前診断の試み.

霜川修、夫律子、副島英伸、佐々木健作、近藤達郎、松本直通、吉浦孝一郎、新川詔夫、原田直樹. 母由来重複に起因する 11p15 部分トリソミーの 1 例.

柳久美子、要匡、知念安紹、蒔田芳男、岡本伸彦、前原博樹、久保田義顕、尾池雄一、山本俊至、黒澤健司、福島義光、Axel Bohring、John Opitz M、吉浦孝一郎、新川詔夫、成富研二. C 症候群の原因遺伝子.

第 30 回日本分子生物学会年会・第 80 回日本生化学会大会 合同大会、2007 年 12 月 11 日 (火) ~ 15 日 (土)、

パシフィコ横浜、ヨコハマグラン
ドインターコンチネンタルホテル
染色体転座切断点解析による Opitz 三角
頭蓋症候群の原因同定と病態解析. 要
匡、柳 久美子、知念安紹、蒔田芳男、
前原博樹、岡本伸彦、山本俊至、黒澤
健司、福嶋義光、J. M. Opitz、吉浦孝
一郎、新川詔夫、成富研二

第 14 回遺伝性疾患に関する出生前診
断研究会、2007/10/21、久留米・久留米
大学 筑水会館

出生前に胎児洞性徐脈と診断された一例.
黒田葵、三浦清徳、山崎健太郎、藤本
洋子、中山大介、増崎英明

Nuchal translucency の臨床的意義 -当科
における検討から-. 吉田至剛、三浦清
徳、山崎健太郎、三浦生子、嶋田貴子、
中山大介、増崎英明

Duchenne 型筋ジストロフィー保因者の出
生前診断における工夫. 山崎健太郎、
三浦清徳、三浦生子、藤本洋子、池田
光、中山大介、増崎英明

第 52 回日本生殖医学会総会、
2007/10/25-26、秋田

Kallmann syndrome と Fibroblast Growth
Factor Receptor 1 (FGFR-1) の遺伝子構
造に関する検討. 三浦清徳、三浦生子、
山崎健太郎、増崎英明

第 228 回日本産科婦人科学会長崎地方
会・日本産婦人科医会長崎県支部会、
2007/12/9

母体血漿中へ流入する胎盤特異的 mRNA
の同定とその臨床的意義. 三浦清徳、
山崎健太郎、三浦生子、増崎英明

H. 指摘財産権の出願・登録状況

整理番号：P07-0229

提出日：平成19年12月14日

国際出願番号：PCT/JP2006/312673

名称：耳垢型又は腋下臭症の評価方法

発明者

住所：長崎県長崎市文教町1番14号

国立大学法人長崎大学内

氏名：新川詔夫

氏名：吉浦孝一郎

出願番号：特願2007-106595

出願日：平成19年4月13日

名称：胎盤機能の網羅的かつ非侵襲的評

価方法および検査用試薬

発明者

住所：長崎県長崎市文教町1番14号

国立大学法人長崎大学内

氏名：三浦清徳

研究成果の刊行に関する一覧表

平成19年度研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

平成19年度の書籍刊行物なし

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamasaki-Ishizaki Y, Kayashima T, Mapendano CK, Soejima H, Ohta T, Masuzaki H, Kinoshita A, Urano T, Yoshiura K, Matsumoto N, Ishimaru T, Mukai T, Niikawa N, Kishino T.	Role of DNA methylation and histone H3 lysine 27 methylation in tissue-specific imprinting of mouse Grb10.	Mol Cell Biol	27(2)	732-742	2007
Sato D, Shimokawa O, Harada N, Olsen OE, Hou JW, Muhlbauer W, Blinkenberg E, Okamoto N, Kinoshita A, Matsumoto N, Kondo S, Kishino T, Miwa N, Ariga T, Niikawa N, Yoshiura K.	Congenital arhinia: Molecular-genetic analysis of five patients.	Am J Med Genet A.	143(6)	546-552	2007
Miura K, Yoshiura K, Miura S, Shimada T, Yamasaki K, Yoshida A, Nakayama D, Shibata Y, Niikawa N, Masuzaki H.	A strong association between human earwax-type and apocrine colostrum secretion from the mammary gland.	Hum Genet	121(5)	631-633	2007

Kikuchi T, Nomura M, Tomita H, Harada N, Kanai K, Konishi T, Yasuda A, Matsuura M, Kato N, Yoshiura K, Niikawa N.	Paroxysmal kinesigenic choreoathetosis (PKC): confirmation of linkage to 16p11-q21, but unsuccessful detection of mutations among 157 genes at the PKC-critical region in seven PKC families.	J Hum Genet.	52(4):	334-341	2007
Miura K, Yamasaki K, Miura S, Yoshiura K, Shimada T, Nakayama D, Niikawa N, Masuzaki H.	Circulating cell-free placental mRNA in the maternal plasma as a predictive marker for twin-twin transfusion syndrome.	Clin Chem	53(6)	1167-1168	2007
Sato D, Liang D, Wu L, Pan Q, Xia K, Dai H, Wang H, Nishimura G, Yoshiura K, Xia J, Niikawa N.	A syndactyly type IV locus maps to 7q36.	J Hum Genet	52(6)	561-564	2007
Sakurai A, Onishi Y, Hirano H, Seigneuret M, Obanayama K, Kim G, Liew EL, Sakaeda T, Yoshiura K, Niikawa N, Sakurai M, Ishikawa T.	Quantitative structure--activity relationship analysis and molecular dynamics simulation to functionally validate nonsynonymous polymorphisms of human ABC transporter ABCB1 (P-glycoprotein/MDR1)	Biochemistry	46(26):	7678-7693	2007
Dateki S, Kondoh T, Nishimura G, Motomura K, Yoshiura K, Kinoshita A, Kuniba H, Koga Y, Moriuchi H.	A Japanese patient with a mild Lenz-Majewski syndrome.	J Hum Genet	52(8):	686-689	2007
Shiels A, Bennett TM, Knopf HL, Yamada K, Yoshiura K, Niikawa N, Shim S, Hanson PI.	CHMP4B, a novel gene for autosomal dominant cataracts linked to chromosome 20q.	Am J Hum	81(3):	596-606	2007

Kaname T, Yanagi K, Chinen Y, Makita Y, Okamoto N, Maehara H, Owan I, Kanaya F, Kubota Y, Oike Y, Yamamoto T, Kurosawa K, Fukushima Y, Bohring A, Opitz JM, Yoshiura K, Niikawa N, Naritomi K.	Mutations in CD96, a member of the immunoglobulin superfamily, cause a form of the C (Opitz trigonocephaly) syndrome.	Am J Hum Genet	81(4)	835-841	2007
Fukusaki T, Ohara N, Hara Y, Yoshimura A, Yoshiura K.	Evidence for association between a Toll-like receptor 4 gene polymorphism and moderate/severe periodontitis in the Japanese population.	J Periodontal Res.	42(6)	541-545	2007
Nakayama D, Masuzaki H, Miura K, Hiraki K, Yoshimura S, Ishimaru T.	Effect of placenta previa on blood loss in second-trimester abortion by labor induction using gemeprost.	Contraception	75	238-240	2007
Shimada T, Miyashita M, Miura S, Nakayama D, Miura K, Fukuda M, Masuzaki H.	Genital human papilloma virus infection in mentally-institutionalized virgins.	Gynecologic Oncology	106	488-489	2007
Tanigawa T, Nakayama D, Miura K, Miura S, Shimada T, Masuzaki H.	Prenatal ultrasonographic findings may be useful in predicting the prognosis of trisomy 18.	Prenat Diagn	27	1039-1044	2007
吉田至剛, 三浦清徳, 中山大介, 増崎英明	Nuchal translucency の臨床的意義および問題点とその対応	産婦人科の実際	56 巻第 5 号	781-785	2007
三浦清徳, 増崎英明	画像で見る産科学/多胎妊娠における膜性診断の役割	ペリネイタルケア	26 巻第 9 号	862-865	2007
三浦清徳	双胎形成のメカニズムとその異常に関する分子遺伝学的検討	日本産科婦人科学会雑誌	59 巻第 10 号	1814-1825	2007

三浦清徳, 増崎英明, 石丸忠之	母体血中に流入する 胎盤由来 cell-free DNA/mRNA の臨床応 用	臨床検査	51 卷 13 号	1691-1697	2007
---------------------	---	------	-----------	-----------	------

平成 20 年度研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

カラー図解 基礎から疾患までわかる遺伝学

(Color Atlas of Genetics, Eberhard Passarge)

監訳／新川詔夫, 吉浦孝一郎

発行者 (株) メディカル・サイエンス・インターナショナル

2009 年 3 月 25 日発行

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sato D, Kawara H, Shimokawa O, Harada N, Tonoki H, Takahashi N, Imai Y, Kimura H, Matsumoto N, Ariga T, Niikawa N, Yoshiura K.	A Down syndrome girl with partial trisomy for 21pter-q22.13: A clue to narrow the Down syndrome critical region.	Am J Med Genet A.	146A(1)	124-127	2008
Wu LQ, Long Z, Liang DS, Harada N, Pan Q, Yoshiura K, Xia K, Dai HP, Niikawa N, Xia JH	Pre- and postnatal overgrowth in a patient with proximal 4p deletion.	Am J Med Genet A.	146A(6)	791-794	2008
Kuniba H, Tsuda M, Nakashima M, Miura S, Miyake N, Kondoh T, Matsumoto T, Moriuchi H, Ohashi H, Kurosawa K, Tonoki H, Nagai T, Okamoto N, Kato M, Fukushima Y, Naritomi K, Matsumoto N, Kinoshita A, Yoshiura K, Niikawa N.	Lack of <i>C20orf133</i> and <i>FLRT3</i> mutations in 43 patients with Kabuki syndrome in Japan.	J Med Genet	45(7)	479-480	2008

Kuniba H, Sato D, Yoshiura K, Ohashi H, Kurosawa K, Miyake N, Kondoh T, Matsumoto T, Nagai T, Okamoto N, Fukushima Y, Naritomi K, Matsumoto N, Niikawa N.	No mutation in RAS-MAPK pathway genes in 30 patients with Kabuki syndrome.	Am J Med Genet A.	146A(14)	1893-1896	2008
Miura K, Miura S, Yamasaki K, Yoshida A, Yoshiura K, Nakayama D, Niikawa N, Masuzaki H.	Increased level of cell-free placental mRNA in a subgroup of placenta previa that needs hysterectomy.	Prenat Diagn	28(9)	805-809	2008
Nakashima M, Tsuda M, Kishino T, Kondoh S, Kinoshita A, Shimokawa O, Niikawa N, Yoshiura K.	The accuracy of SNP genotyping using genomic DNA extracted from finger nail: Comparison with blood.	Clin Chem	54(10)	1746-1748	2008
Nakashima M, Nakano M, Hirano A, Kishino T, Kondoh S, Miwa N, Niikawa N, Yoshiura K.	Genome-wide linkage analysis and mutation analysis of hereditary congenital blepharoptosis in a Japanese family.	J Hum Genet	53(1)	34-41	2008
Oishi H, Moriyama S, Kotera K, Miura K, Masuzaki H.	First case of liposarcoma arising from the fallopian tube: A case report and review of the literature.	The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	34 (4 pt 2)	713-716	2008
Shimada T, Miura K, Gotoh H, Nakayama D, Masuzaki H.	Management of prenatal ovarian cysts.	Early Hum Dev	84(6)	417-420	2008
Hamada T, Hirose R, Kosaka T, Taniguchi K, Noguchi M, Kihara T, Egashira M, Tagawa M, Miura K, Masuzaki H, Tajima Y, Hayashi T, Kanematsu T.	Giant cystic meconium peritonitis associated with a cloacal anomaly: case report.	Journal of Pediatric Surgery	43(3)	E21-E23	2008

Yoshida S, Miura K, Yamasaki K, Miura S, Shimada T, Tanigawa T, Yoshida A, Nakayama D, Masuzaki H.	Does increased nuchal translucency indicate a fetal abnormality? : A retrospective study to clarify the clinical significance of nuchal translucency in Japan.	J Hum Genet	53	688-693	2008
Yoshida A, Miura K, Nakayama D, Masuzaki H.	Correlation between preeclampsia and prevalence of polymorphism of angiotensinogen, methylenetetrahydrofolate reductase and factor V, prothrombin genes among Japanese women.	Act Med Nagasaki	53	37-41	2008
Khan KN, Kitajima M, Hiraki K, Fujishita A, Sekine I, Ishimaru T, Masuzaki H.	Immunopathogenesis of pelvic endometriosis: role of hepatocyte growth factor, macrophages and ovarian steroids.	Am J Reprod Immunol	60	383-404	2008
Khan KN, Kitajima M, Imamura T, Hiraki K, Fujishita A, Sekine I, Ishimaru T, Masuzaki H.	Toll-like receptor 4-mediated growth of endometriosis by human heat-shock protein 70.	Hum Reprod	23	2210-2219	2008
三浦清徳, 新川詔夫	Wolf-Hirschhorn 症候群と猫なき症候群 21 トリソミー症候群, 18 トリソミー症候群, 13 トリソミー症候群, Turner 症候群	別冊領域別症候群シリーズ No7. 『循環器症候群 (IV)』	第 2 版 (日本臨床)	332-335 336-341	2008
三浦清徳, 増崎英明	不妊治療と多胎/不妊治療と双胎妊娠発生機序	臨床婦人科産科	62 巻第 3 号	247-253	2008
三浦生子, 三浦清徳, 吉田敦, 山崎健太郎, 増崎英明	母体血漿中に流入する胎盤由来 mRNA の同定とその臨床的意義	産婦人科の実際	57 巻第 8 号	1315-1320	2008

三浦清徳, 増崎英明	Assisted Reproductive Technology におけるキメラ発生危険性	哺乳動物卵子学会誌	25 巻	206-212	2008
三浦清徳, 増崎英明	周産期医療における胎児・胎盤由来 cell-free DNA/mRNA の臨床的意義とその応用	医学のあゆみ	225 巻第 9 号	963-969	2008
山崎健太郎, 三浦清徳, 三浦生子, 吉田敦, 平木宏一, 中山大介, 増崎英明	Discordant twins の病態に関する検討	産婦人科の実際	57 巻第 10 号	1575-1581	2008
長谷川史郎, 増崎英明	出生前診断をめぐる諸問題一座長のまとめ	日本周産期新生児学会誌	44 巻	877	2008
吉田敦, 増崎英明	癒着胎盤の術前診断に関する検討	産婦人科の実際	57 巻第 12 号	2021-2026	2008
吉田敦, 増崎英明	妊娠高血圧症候群の発症および重症化の予知	産婦人科の実際	57 巻第 6 号	1021-1026	2008
牛嶋公生, 和氣徳夫, 小林裕明, 蜂須賀 徹, 土岐尚之, 増崎英明, 小寺宏平, 瓦林達比古, 江本 精, 嘉村 敏治	婦人科癌化学療法時の悪心・嘔吐に対するインジセロトン塩酸塩の有効性および安全性	癌と化学療法	35	1169-1173	2008

平成 21 年度研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

平成 21 年度の書籍刊行物なし

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Wu L, Liang D, Niikawa N, Ma F, Sun M, Pan Q, Long Z, Zhou Z, Yoshiura K, Wang H, Sato D, Nishimura G, Dai H, Zhang X, Xia J.	A ZRS duplication causes syndactyly type IV with tibial hypoplasia.	Am J Med Genet A	149A(4)	816-818	2009
Kuniba H, Pooh RK, Sasaki K, Shimokawa O, Harada N, Kondoh T, Egashira M, Moriuchi H, Yoshiura KI, Niikawa N.	Prenatal diagnosis of Costello syndrome using 3D ultrasonography amniocentesis confirmation of the rare HRAS mutation G12D.	Am J Med Genet A	149A(4)	785-787	2009
Miyazaki K, Mapendano CK, Fuchigami T, Kondo S, Ohta T, Kinoshita A, Tsukamoto K, Yoshiura KI, Niikawa N, Kishino T.	Developmentally dynamic changes of DNA methylation in the mouse Snurf/Snrpn gene.	Gene	432(1-2)	97-101	2009
Hamanoue H, Megarbane A, Tohma T, Nishimura A, Mizuguchi T, Saito H, Sakai H, Miura S, Toda T, Miyake N, Niikawa N, Yoshiura K, Hirahara F, Matsumoto N.	A locus for ophthalmo-acromelic syndrome mapped to 10p11.23.	Am J Med Genet A	149A(3)	336-342	2009

Kuniba H, Yoshiura K, Kondoh T, Ohashi H, Kurosawa K, Tonoki H, Nagai T, Okamoto N, Kato M, Fukushima Y, Kaname T, Naritomi K, Matsumoto T, Moriuchi H, Kishino T, Kinoshita A, Miyake N, Matsumoto N, Niikawa N.	Molecular karyotyping in 17 patients and mutation screening in 41 patients with Kabuki syndrome.	J Hum Genet	54(5)	304-309	2009
Toyoda Y, Sakurai A, Mitani Y, Nakashima M, Yoshiura KI, Nakagawa H, Sakai Y, Ota I, Lezhava A, Hayashizaki Y, Niikawa N, Ishikawa T.	Earwax, osmidrosis, and breast cancer: why does one SNP (538G>A) in the human ABC transporter ABCC11 gene determine earwax type?	FASEB J	23(6)	2001-2013	2009
Nakano M, Miwa N, Hirano A, Yoshiura K, Niikawa N.	A strong association of axillary osmidrosis with the wet earwax type determined by genotyping of the ABCC11 gene.	BMC Genet	10:	42	2009
Machida J, Félix TM, Murray JC, Yoshiura K, Tanemura M, Kamamoto M, Shimozato K, Sonta S, Ono T.	Searching for genes for cleft lip and/or palate based on breakpoint analysis of a balanced translocation t(9;17)(q32;q12).	Cleft Palate Craniofac J	46(5)	532-540	2009
The Super Science High School Consortium.	Japanese map of the earwax gene frequency: a nationwide collaborative study by Super Science High School Consortium.	J Hum Genet	54(9)	499-503	2009
Kimani JW, Yoshiura K, Shi M, Jugessur A, Moretti-Ferreira D, Christensen K, Murray JC.	Search for Genomic Alterations in Monozygotic Twins Discordant for Cleft Lip and/or Palate.	Twin Res Hum Genet	12(5)	462-468	2009